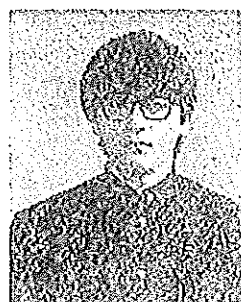


苦 勞 = 理 解

'77 早稲田大学理工学部合格

上野 史明 (蟻とキリギリス)



合格体験記

科目別に言うと、英語は増やすことだと思った。僕は1, 2年の頃英語が嫌いで、授業中は数学ばかりやっていた。家では予習復習を全くせず、Z会しかなかったが、それもやりっ放し、いつも期限オーバー。とにかく英語と接触することが少なかった。3年の夏休み頃からさすがにあせって、何かしようと思って問題集を買おうとした。薄いのは心もとないし、厚いのはやる気がしない。学校の教科書をやればよいという人がやたらと多くいたし、経費節約をかね、教科書をせつせと覚えた。次には、熟語力がないと思って試験にでるとかでないとかいうのと毎日にらめっこした。それから、復習しないのでは添削料がもったいないと思って1, 2年にやったG科の問題をもう一度やってみた。こういうのが能率的な方法なのかどうかは定かでない。しかし、こういうのもどいうのでも接触していればなんとなく自信がつくと思う。実際には、自信がついたほど実力はつかなかったが、東大をねらうZ会諸君は、そのうちには実力もついてくるのだろう。

現国は勉強したこともないし、仕方もわからなかった。まあ、授業中、まじめなふりをして聞いている、何の役にも立たないということを学んだぐらいだ。

数学は、時間との競走だ。いくらZ会の難問でも3日考えれば、なんとかわかったような気がする。入試には時間制限がある。その間にいかに正確に答えられるか、これがカギを握る。だから、試験中、あれやこれやと迷わないために、日頃、充分時間をかけて納得しておくこと、いろいろ経験しておくことだ。とにかく、数学には巨大な時間を要する

と覚悟しなければなるまい。一見矛盾しているようだが、これが、試験中問題を速く解くコツみたいなものだ。

化学は、モルとグラム当量を押さえれば半分終わりである。ここまでは、それほど苦労はないはずだ。残りの分子式だの反応式だのは、それから沈澱の色なんかは要するにクイズだと思って静かに覚えるしかない。

物理は、更にこれがひどい。化学なら、ちょっと暗記してなくとも、20点のうち10点ぐらいはとれるから、まだいい。ところが物理ときた日にゃ、ちょっと暗記しなかった所がでたら20点が0点である。よく、交流はでない、とか、光はでないとかいって、模試なんかで、かなり大胆にヤマをかける人がいるが、それは言語道断である。

とにかく、まじめなふり、わかったふりが一番いけない。数学なんか特に、まじめなふりをして黒板の字をうつしていても何にもならない。数学や物理、化学の計算問題なんかは、基礎的なことを運用する能力が問題になるのだから、解答をうつすのにおわれて大事なところを聞きのがしては何にもならない。

それから、わからないところは、自分でうんと苦労してわかるようにすることだ。苦労してあちこち調べてみれば、ぜったいにわかるようになる。ぼくの場合、物理は特にわからないところが多かった。でも、浪人してから“難問題の系統とその解き方物理Ⅰ・Ⅱ”というやつをやっておおかた解決できた。まあ全教科を通じて、ぼくの4年間に使った本の中でZ会諸君にすすめられるものといったらこの物理の本ぐらいだ。

('76 磐城高校卒)